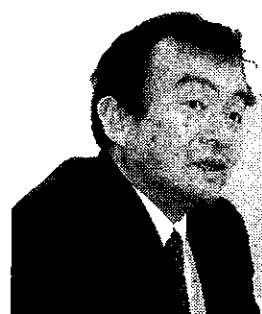


医療シリーズ

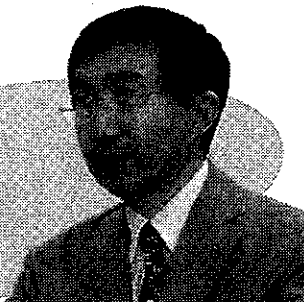
最先端の 歯科治療

特集2 進化する
インプラント治療

歯科の最先端技術の一つ、インプラント治療は、義歯（入れ歯）やブリッジとは一線を画す治療法といえる。インプラント治療はどこまで進んでいるのか、メリットは何か。先月号「歯科の金属アレルギー」特集に引き続き、三浦、飯島両先生に語っていただいた。



東京医科歯科大学教授
三浦 宏之 氏
冠・橋義歯補綴（はてつ）学の分野で研究と後進の育成にあたり、日本におけるジルコニア修復のバイオセラミックス、歯科アレルギー分野の第一人者として活躍している。



東京歯科大学臨床教授
アイ・ティー・デンタルクリニック院長
飯島 俊一 氏
インプラント治療の権威。スイスのベルン大学、ドイツのフランクフルト大学等でも研修を重ね、臨床家の立場からインプラント分野を牽引している。九州インプラント研究会会員。

インプラントは骨に負担をかけない

— 今、最も注目されている歯科技術の一つ「インプラント」の歴史的背景をお聞きしたいのですが。

飯島 歯科医療の「インプラント」とは人工歯根のことですが、顎の骨にインプラントを埋め込み、その上に人工の歯を作るのがインプラント治療です。

インプラント本体はチタンという金属で作られますが、1952年にスウェーデンのプロローネマルク博士が、チタンと骨が結合する性質に気付き、人工歯根への応用を考えたことに始まります。チタンは腐食の問題が少なく、アレルギーも非常に少ない金属です。その後65年にプロローネマルク博士によって初めて臨床応用が行われました。

それからさまざまなインプラント治療技術が発展して、日本でも行われるようになってきました。私自身はインプラント治療を始めて24年くらいになります。

— インプラント治療のメリットは何ですか。

飯島 入れ歯と比較して、インプラントの歯は顎の骨に負担がかかりません。入れ歯は噛んだ力が粘膜に負担をかけ、顎の骨がその力を吸収します。そのため、骨が少なくなってしまうことがあります。

よく、入れ歯がゆるくなるといいますが、入れ歯の形が変わるのではなく、骨が吸収されていくのです。

— インプラントによる治療の流れと治療期間を教えてください。

飯島 はじめにインプラントを埋め込む顎の骨の状態をCTなどの画像診断で把握して治療計画を立てます。インプラント本体を一本埋め込むのに要する時間は、準備を含めて30分程度です。その後、インプラント本体のチタンと顎の骨が結合

— インプラントは骨に負担をかけない方がやせるのです。

三浦 インプラントは骨に埋め込むので、天然歯と同じように噛むことができ、入れ歯に比べて物を食べやすいですね。また、入れ歯のようにほかの歯に負担がかからないことも大きなメリットです。

飯島 中には嘔吐反射が強く、入れ歯を入れようとすると吐き気を催すのでどうしても入れられないという人がいます。そういうケースでもインプラント治療が役立ちます。

コンピュータ技術の進歩と安全性

— インプラントによる治療の流れと治療期間を教えてください。

飯島 はじめにインプラントを埋め込む顎の骨の状態をCTなどの画像診断で把握して治療計画を立てます。インプラント本体を一本埋め込むのに要する時間は、準備を含めて30分程度です。その後、インプラント本体のチタンと顎の骨が結合

— インプラントの歯はどのくらいの期間もちますか。

飯島 基本的にはインプラントを支える骨がなくならなければ、ほぼ永久的にもちます。65年にインプラント治療を受けてそのまま使っている人もいます。

— 日本人の歯のメンテナンスに対する意識はどのようですか。

飯島 残念ながらあまり高くないです。

— 日本人の歯のメンテナンスに対する意識はどのようですか。

飯島 残念ながらあまり高くないです。

日本人の歯科衛生に対する意識

— インプラントの歯はどのくらいの期間もちますか。

飯島 基本的にはインプラントを支える骨がなくならなければ、ほぼ永久的にもちます。65年にインプラント治療を受けてそのまま使っている人もいます。

— 日本人の歯のメンテナンスに対する意識はどのようですか。

飯島 残念ながらあまり高くないです。

— 日本人の歯のメンテナンスに対する意識はどのようですか。

飯島 残念ながらあまり高くないです。

— 痛みや安全性の問題が気になります。

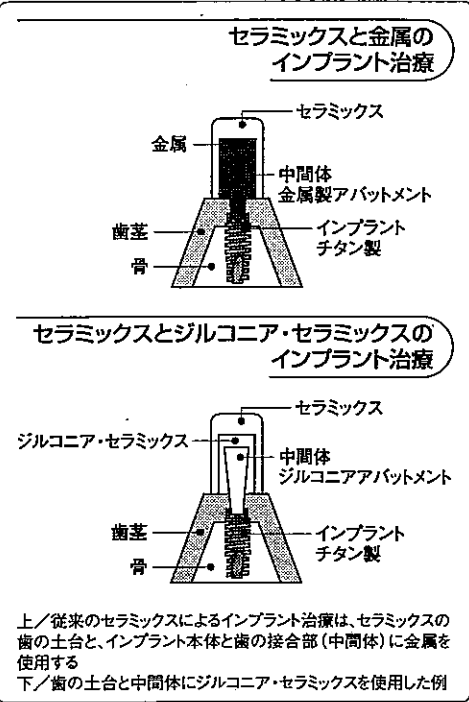
飯島 インプラント手術では一般の治療で歯を削るときなどに使用するのと同じ局所麻酔を行います。痛みも同程度のものです。手術後に痛みがある場合は通常の鎮痛剤を飲みます。安全性については、CTを使った立体的な画像診断を行うことが多くなったことで、より正確な手術を行えるようになっていっています。

三浦 従来は、インプラント本体と上の人工歯をつなぐ接合部分（中間体）には金属を使用するという選択肢しかありませんでした。しかし現在は、前回お話しした新素材のジルコニアセラミックスをこの部分に使用できるようになりました。ジルコニアセラミックスは生体親和性があり、歯肉に対して為害作用（副

新素材によるインプラント治療

— 新素材はインプラント治療にどのように応用されているのでしょうか。

三浦 従来は、インプラント本体と上の人工歯をつなぐ接合部分（中間体）には金属を使用するという選択肢しかありませんでした。しかし現在は、前回お話しした新素材のジルコニアセラミックスをこの部分に使用できるようになりました。ジルコニアセラミックスは生体親和性があり、歯肉に対して為害作用（副



提供/デンツプライニシキ株式会社
http://www.dentsply-sankin.com

取材・構成/川島昌子

定期的な健診が本当に必要なことを分かっていただいたいと思います。